

## 神岡レーザー伸縮計で観測されたスマトラ地震後約1ヶ月間の地殻ひずみ変化

### Strain changes for a period of one month from the Sumatora earthquake by the Kamioka laser strainmeter system

# 早河 秀章 [1]; 竹本 修三 [2]; 新谷 昌人 [3]; 森井 互 [4]; 大橋 正健 [5]

# Hideaki Hayakawa[1]; Shuzo Takemoto[2]; Akito Araya[3]; Wataru Morii[4]; Masatake Ohashi[5]

[1] 京大・院理・地物; [2] 京大・理・地球惑星; [3] 東大・地震研; [4] 京大・防災研・地震予知; [5] 東大・宇宙線研

[1] Geophysics, Kyoto Univ.; [2] Earth and Planetary Sci., Kyoto Univ; [3] ERI, Univ. Tokyo; [4] RCEP, DPRI, Kyoto-Univ.; [5] ICRR, Tokyo univ.

<http://www-geod.kugi.kyoto-u.ac.jp/>

神岡レーザー伸縮計は、岐阜県神岡鉱山の地下1000mで観測を行っている高精度レーザー伸縮計である。神岡伸縮計は、スマトラ地震前後数ヶ月の間、レーザー装置の不調で不安定な状態にあり欠測も断続的に起こっていた。ノイズを多く含んでいる期間であるが、スマトラ地震の解析を行うため、この期間の観測フリンジデータからひずみデータを得た。本講演では、神岡レーザー伸縮計で観測された地震発生から約一ヶ月間の地殻ひずみについて報告する。